

平成29年10月10日
東葉高速鉄道株式会社

平成29年度異常時総合訓練の実施について

東葉高速鉄道（本社：千葉県八千代市、社長：吉田雅一）では、平成29年10月6日（金）に、車両基地において、「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、重大事故が発生した場合での併発事故の防止や、負傷者の救出・救護、お客さまの避難誘導、事故復旧体制の確立といった異常時における知識・技能の向上を目的に、毎年実施しているものです。

本年は、大震災を想定した訓練を実施いたしました。関係各所との連携も不可欠であることから、八千代警察署及び八千代市消防本部に協力を依頼し、総勢約100名が参加した訓練となりました。

今後も万一の不測の事態に備え、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。

1 実施日

平成29年10月6日（金）

2 訓練会場

東葉高速鉄道 車両基地

3 訓練想定

10月6日、13時55分ごろ、八千代中央駅を出発した第A1250TR列車（中野駅発東葉勝田台駅行き）の担当運転士は、緊急地震速報による緊急停止指令を傍受したため、直ちに非常ブレーキを操作し、八千代中央駅ホーム先端から300m離れた地点に停止した。

直後に震度6の地震が発生し、大きな衝動と長い動揺から列車前方の電車線垂下や第7車両の脱線が起こる。

また、列車停止時による大きな衝動や脱線の影響で、旅客が数名負傷したとの想定で訓練を実施した。

4 訓練参加機関

- (1) 八千代警察署
- (2) 八千代市消防本部
- (3) 東葉高速鉄道株式会社

以上



【八千代警察署及び八千代市消防本部の職員による救出活動】



【軽傷者及びお客さまの避難誘導】